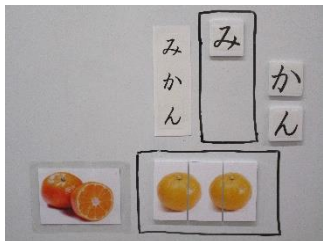


教材・教具

本校では、“一人一人が主人公”を合い言葉に、日々研究・研修を行っています。
個に応じた指導を実践するため、教員が手作りした教材・教具をどうぞご覧下さい。

国語

教材名	ねらい	写真
へんしんポスト	・読み聞かせに親しみ、言葉遊びを楽しむことで、言葉に興味をもったり言葉と事物を結びつけたりする。	
ものの名前を覚えよう	・身近なものの名前を聞いて、写真カードを取ったり、分割されたカードを完成させて、何ができたか答えたりしながら、ものの名前を覚える。 ・平仮名カードを手本と同じに並べることで、平仮名に興味関心をもたせる。	
マイブック	・自分用の本を作ることで、興味関心や愛着をもち学習に取り組むことができる。メモを書き込んだり、資料を貼ったりすることで、自分なりのまとめ方ができる。	

へんしんポスト

【ねらい】

- ・読み聞かせに親しむ。
- ・言葉遊びを楽しむことで、言葉に興味をもったり言葉と事物を結びつけたりする。

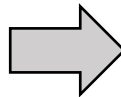
【特徴，作り方等】

カードが落ちてひっくり返る板

内部の様子

<特徴>

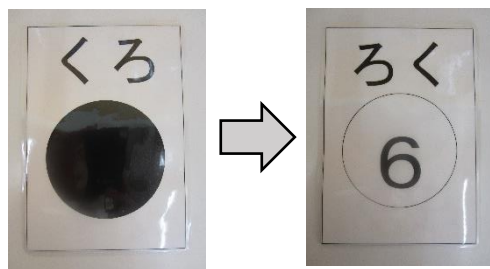
- ①ポスト本体は，22cm×22cm×32cm の段ボール箱を使用。
- ②カードの大きさは，15cm×11cm。
- ③カードに書かれた言葉は，高等部の生徒と考えたもの。



<使い方>

- ①「へんしんカード」をポストの上の穴に入れる。
※ なるべく垂直に落ちるようにする。
- ②「へんしんカード」がポストの中でひっくり返り，裏面が表となってポストの下穴から出てくる。

☆へんしんカード例



※ 「くだものカード」や「どうぶつカード」など，表面に写真やイラストがあり，裏面に対応する文字が書かれているカードを使って言葉の学習を行ってもよい。

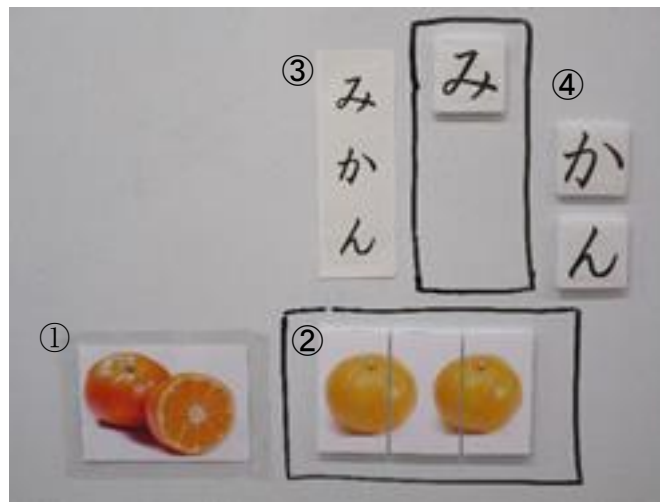
【制作者】 込山 里佳

ものの名前を覚えよう

【ねらい】

- ・身近なものの名前が分かる。
- ・平仮名に興味関心をもつことができる。

【使い方の例】



①写真カード ②分割カード ③名前カード ④平仮名カード

①写真カードを机に2種類並べて、「みかんをください」と問いかける。

児童生徒の実態に応じて、同じみかんの写真カードを提示して取れるようにしたり、写真カードの枚数を増やしたりする。

②分割カードを渡し、ホワイトボードに描いた枠の中に完成させるよう促す。

完成したカードに注目させ、「これはなんですか？」と問いかける。

また、「なんこありますか？」などの問いかけをして、ものの数え方を身につけることができるようにする。

平仮名が分かる児童生徒ならば、③名前カードを写真カードの上に貼るように促す。

難しい場合は、③名前カードを提示して、それを見ながら、④平仮名カードを並べるよう促す。

完成したら、一文字一文字確認しながら読んで、平仮名に興味関心をもてるようにする。

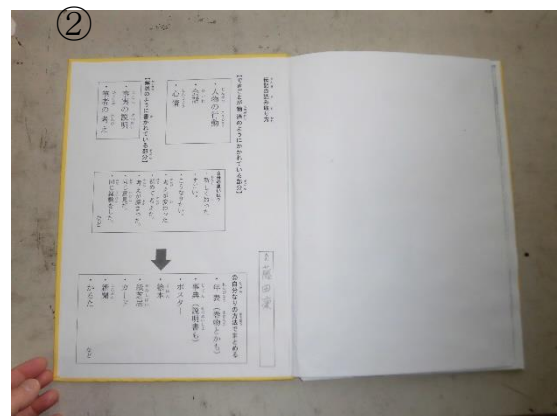
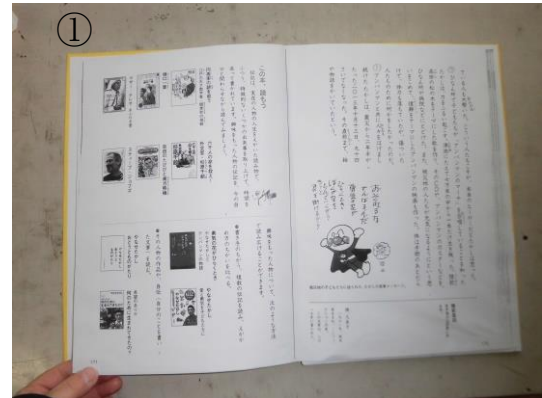
【制作者】 橋本 俊勝

マイブック

【ねらい】

- ・生徒が自分用の本を作ること、興味関心や愛着をもち学習に取り組むことができる。
- ・メモを書き込む、イラストを描いて色を塗る、資料を貼るなど自分なりのまとめ方ができる。

【使い方の例】



マイブックの中身の例

① 教科書や本をコピーした。

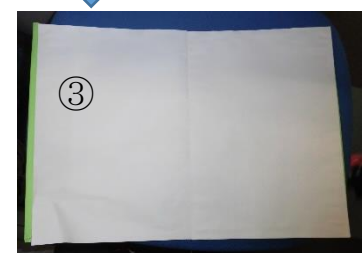
- ・段落番号を書き込んだりメモを書き込んだりする。
- ・イラストを描いたり、色塗りをしたりする。

② 学習のみちすじを示した

(例：伝記の読み取り方)

③ 白紙のページ

- ・学習で使用したものを貼る。
- ・友達と一緒にまとめた掲示物等を写真にとって印刷し、貼る。
- ・家庭学習で調べたものなどを貼る。



【制作者】 山本 昌美